

実施主体としての 地籍調査への取組

南那珂森林組合 串間事業所
第1事業課 渡邊 裕





実施主体としての地籍調査への取組

1. 地籍調査とは？
2. 実施主体として地籍調査に取り組んだ経緯
3. 地籍調査と境界明確化の違い
4. 組合が取り組んでいる地籍調査の作業内容
(実施体制、取組状況、資格、測量機器等)
5. 経費負担
6. 組合が実施する上での現状及び利点と課題
7. まとめ



地籍調査とは？

- 国土調査の1つであり、主に市町村が実施主体
- 国土調査法に基づき1筆ごとの土地の所有者・地番・地目を調査
- 調査結果をもとに境界の位置・形状を測量
- 地籍図及び地籍簿案を作成・閲覧
- 登記簿の修正・地図の更新

工程の流れ

計画・事務手続き・準備(A・B)

工程の流れ

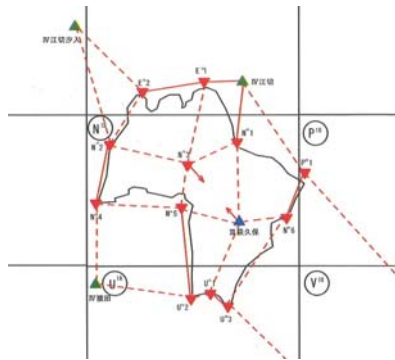


一筆地調査(E)



計画・事務手続き・準備(A・B)

工程の流れ

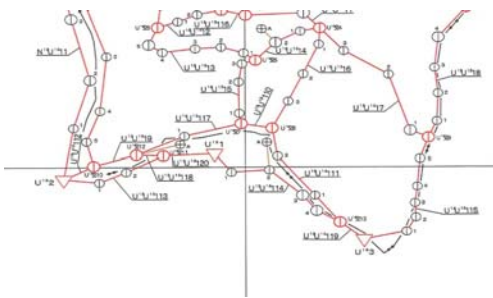


地籍図根三角測量(C)

一筆地調査(E)

計画・事務手続き・準備(A・B)

工程の流れ



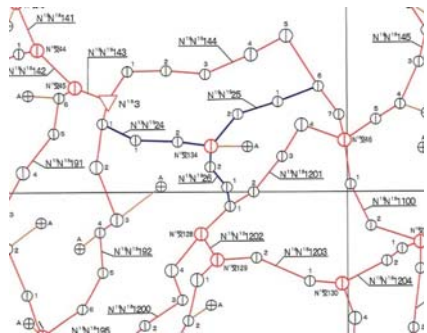
地籍図根多角測量(D)

地籍図根三角測量(C)

一筆地調査(E)

計画・事務手続き・準備(A・B)

工程の流れ



細部図根測量(FI)

地籍図根多角測量(D)

地籍図根三角測量(C)

一筆地調査(E)

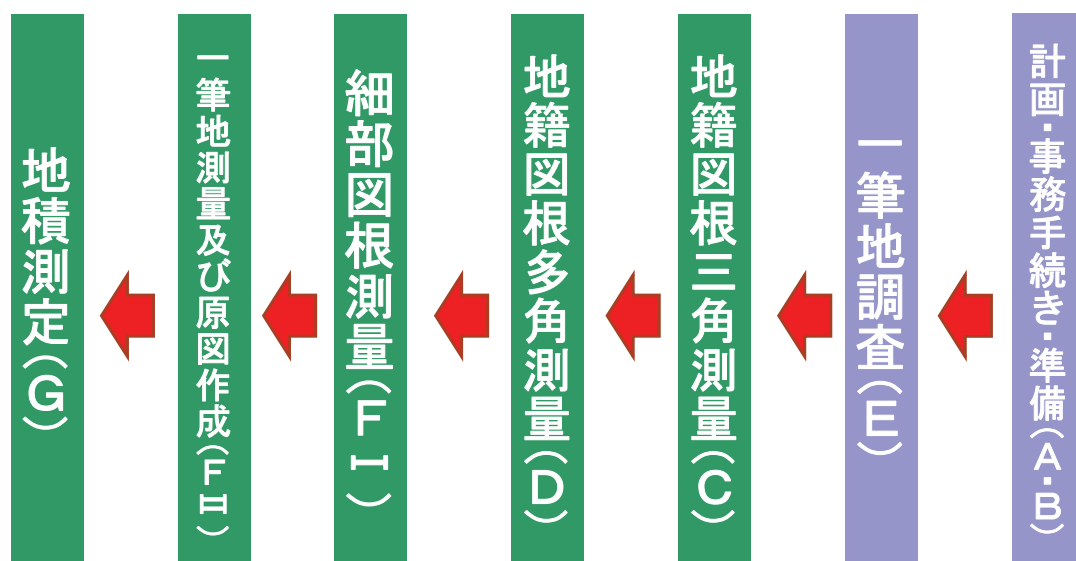
計画・事務手続き・準備(A・B)

工程の流れ

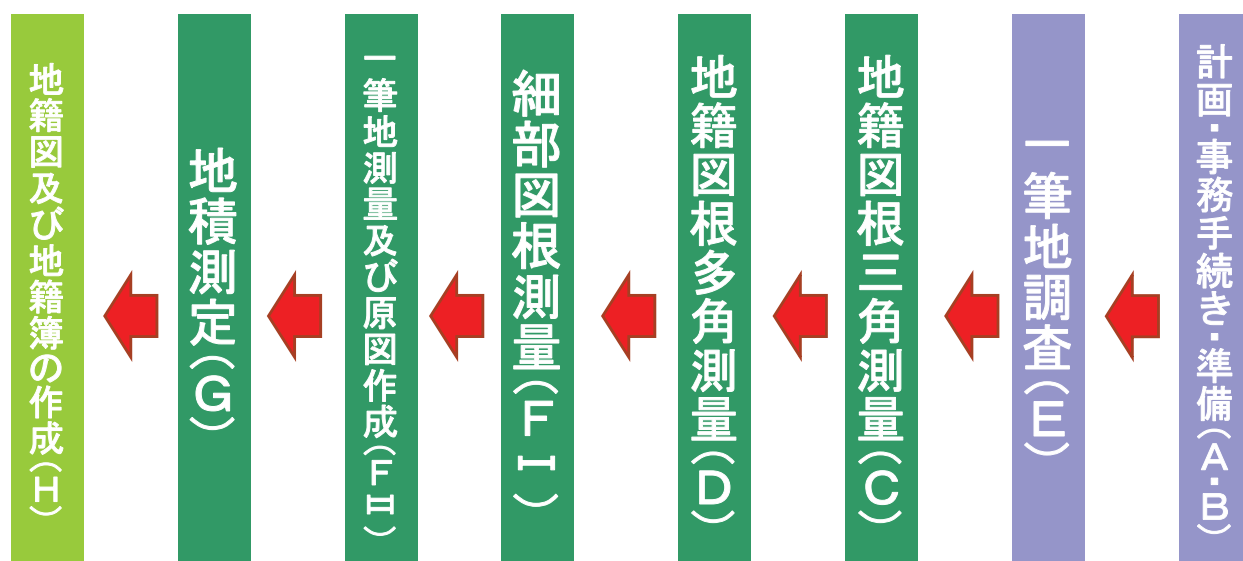
一筆地測量及び原図作成(FII)



工程の流れ



工程の流れ



実施主体として地籍調査に取り組んだ経緯
数年前までは、山の管理は自分達で行うもの



材価の低迷・・

山林に対する関心が薄れる。山離れ



不在村化、高齢化・・

境界不明の山林の増加



施業の実施が困難



所有者に代わり、山林の管理が必要



H12:GIS H13:GPSの導入



明確化事業に取り組む



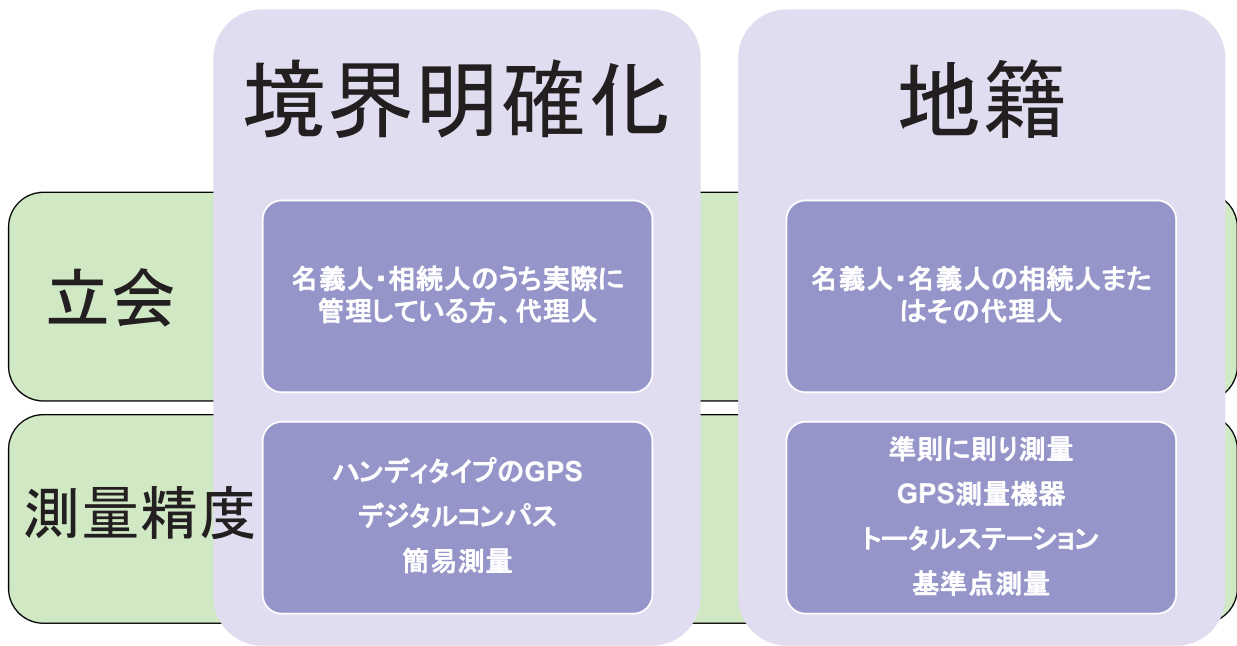
登記まで出来ないか・・・

串間市へ相談

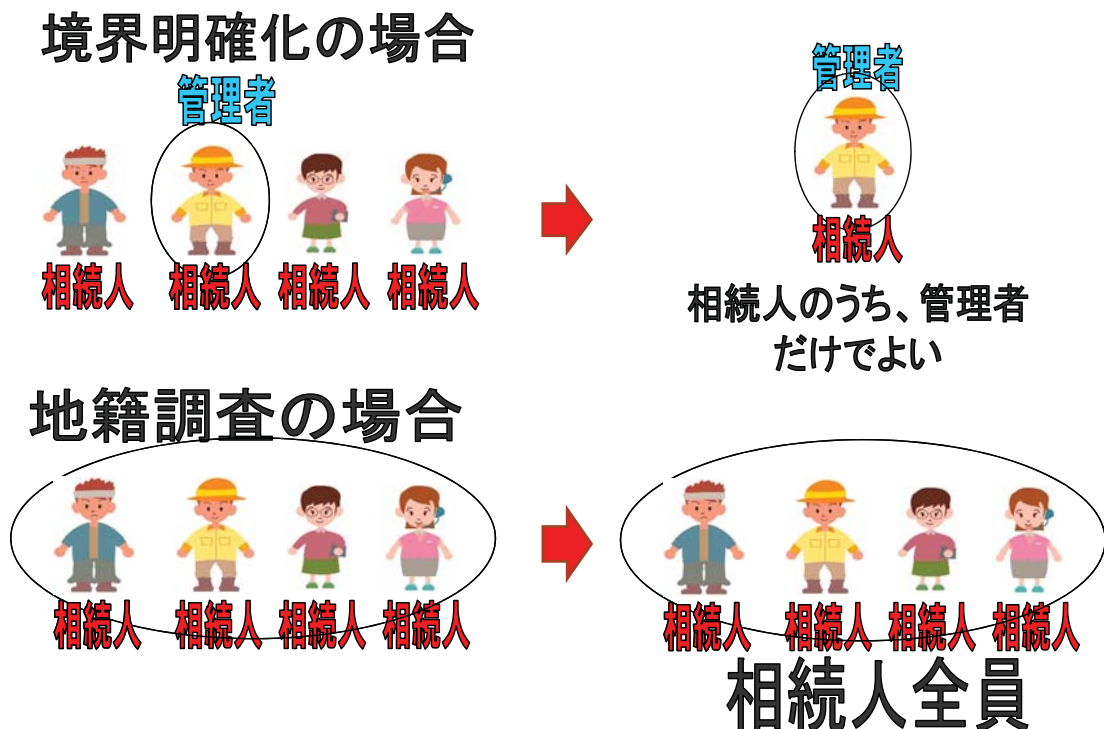


H21より地籍調査を実施

地籍調査と境界明確化の違い



地籍調査と境界明確化の違い 立会



地籍調査と境界明確化の違い 測量精度



ハンディGPS



デジタルコンパス

精度がそれほど
求められない



高精度GPS



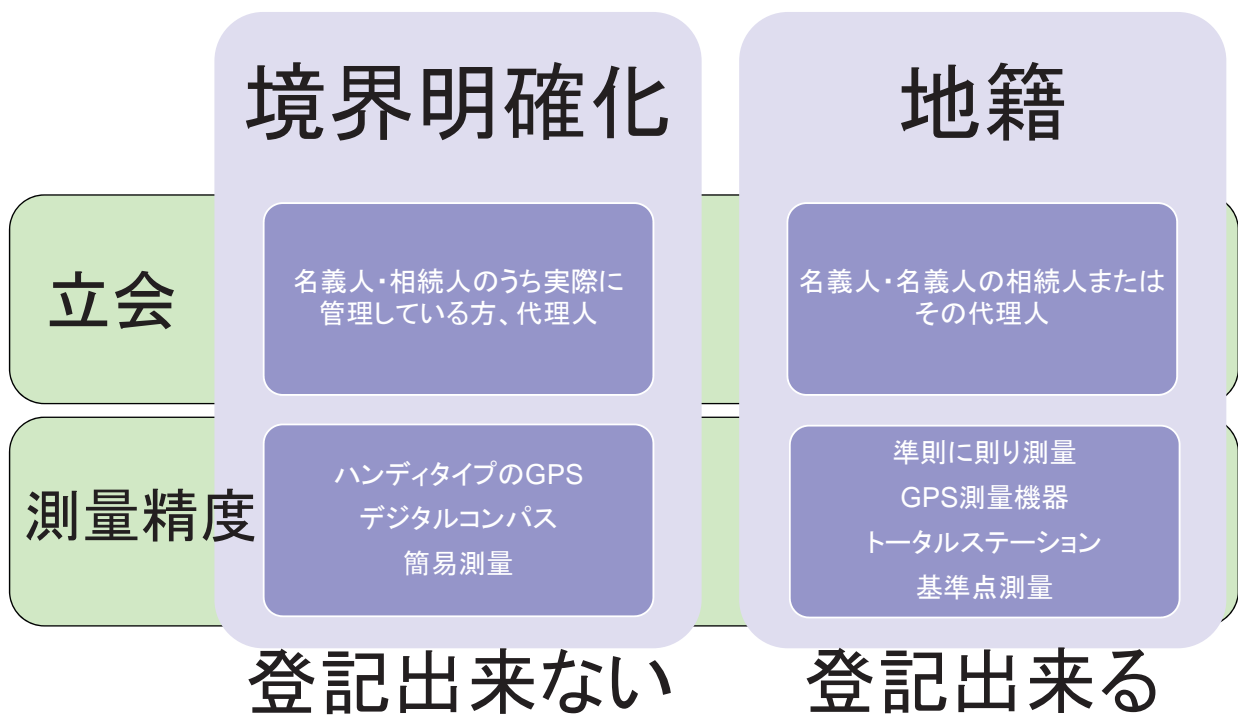
トータルステーション



基本三角点測量

精度確保が
求められる

地籍調査と境界明確化の違い



登記できる内容で調査・測量を実施するかどうか

直営・委託・一部委託の工程

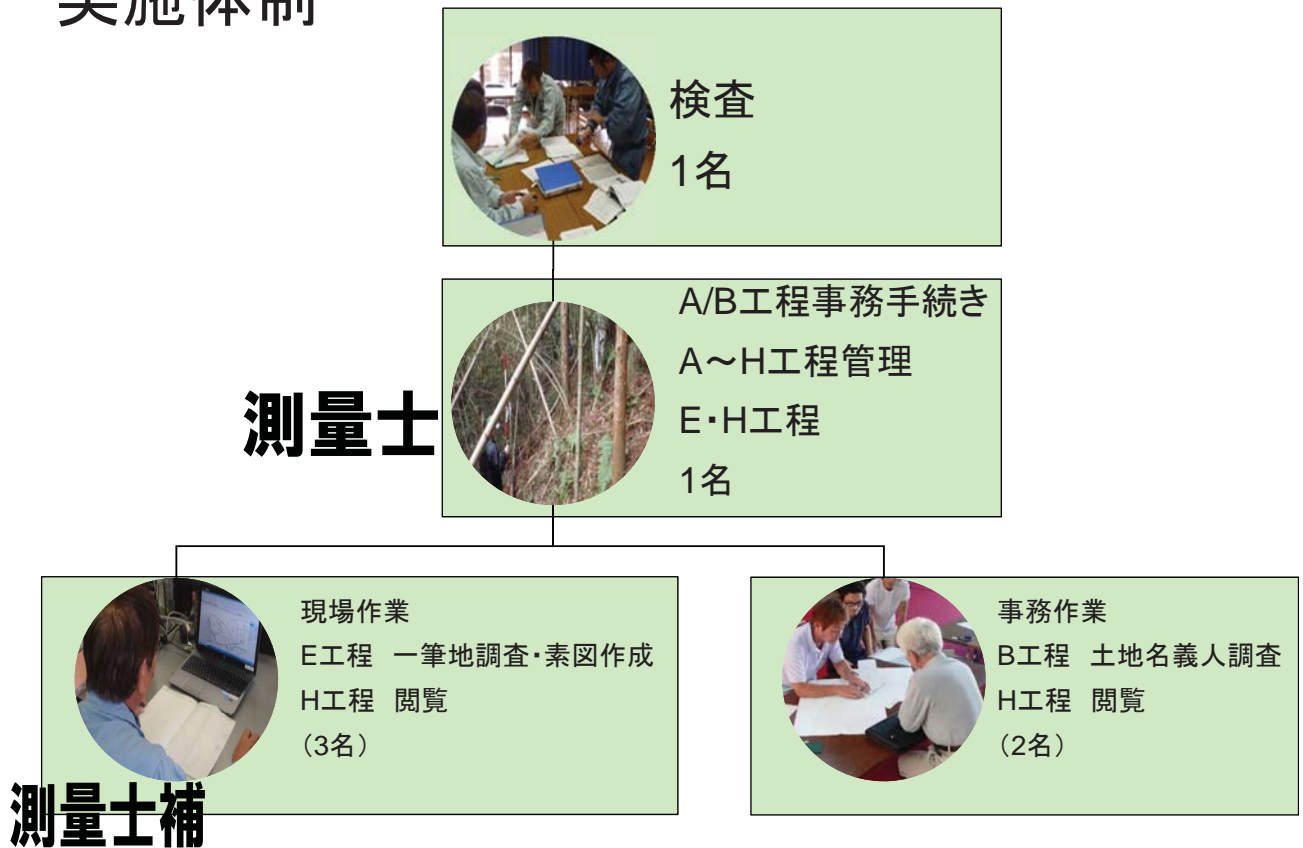
一部委託

委託

直営



実施体制



取組状況

組合実績(予定含む)

年度	面積(ha)	筆数(筆)
22	157	601
23	97	20
24	283	141
25	460	454
26	304	458
27	277	1,241
合計	1,578	2,915

※1筆あたり $1,578/2,915 \div 0.54ha$

串間市(全体)

	面積(ha)	林小班(件)
山林	14,116	38,170

※1林小班あたり $14,116/38,170 \div 0.37ha$

経費負担

■ 市町村が 実施主体の場合

地籍調査事業費
国→2/4
都道府県→1/4
市町村→1/4

■ 森林組合等が 実施主体の場合

地籍調査事業費
国→4/6
都道府県→1/6
森林組合等→1/6

串間市が全額補助

当組合が実施する上での現状

- ・設計書の作成及び管理
- ・各自治体への戸籍の申請および電話対応
- ・法務局の資料の申請および取得



利点

串間市

- 進捗があがる
- 山村地域の境界確定
- 災害時における迅速な対応

森林組合

- 経営計画等の基盤整備
- 適切な森林管理
- 山林に必要な施業の提案・実施

課題

- 地籍調査事業の浸透
- 森林組合の知名度
- 名義変更



県外在住者

誤解を解く

連絡
(郵送)

JForest

森林組合

新手の
詐欺？

相談

連絡



相談センター

セキュリティ対策

主な個人情報



串間市

抜き出した個人
情報



組合保管

鍵付きロッカー
パスワード管理PC
※地籍部は別棟



まとめ

森林組合等が実施主体として
地籍調査を実施するためには…



- ①管轄の市町村及び都道府県の理解と協力が
必要
- ②組織体制



ご清聴ありがとうございました